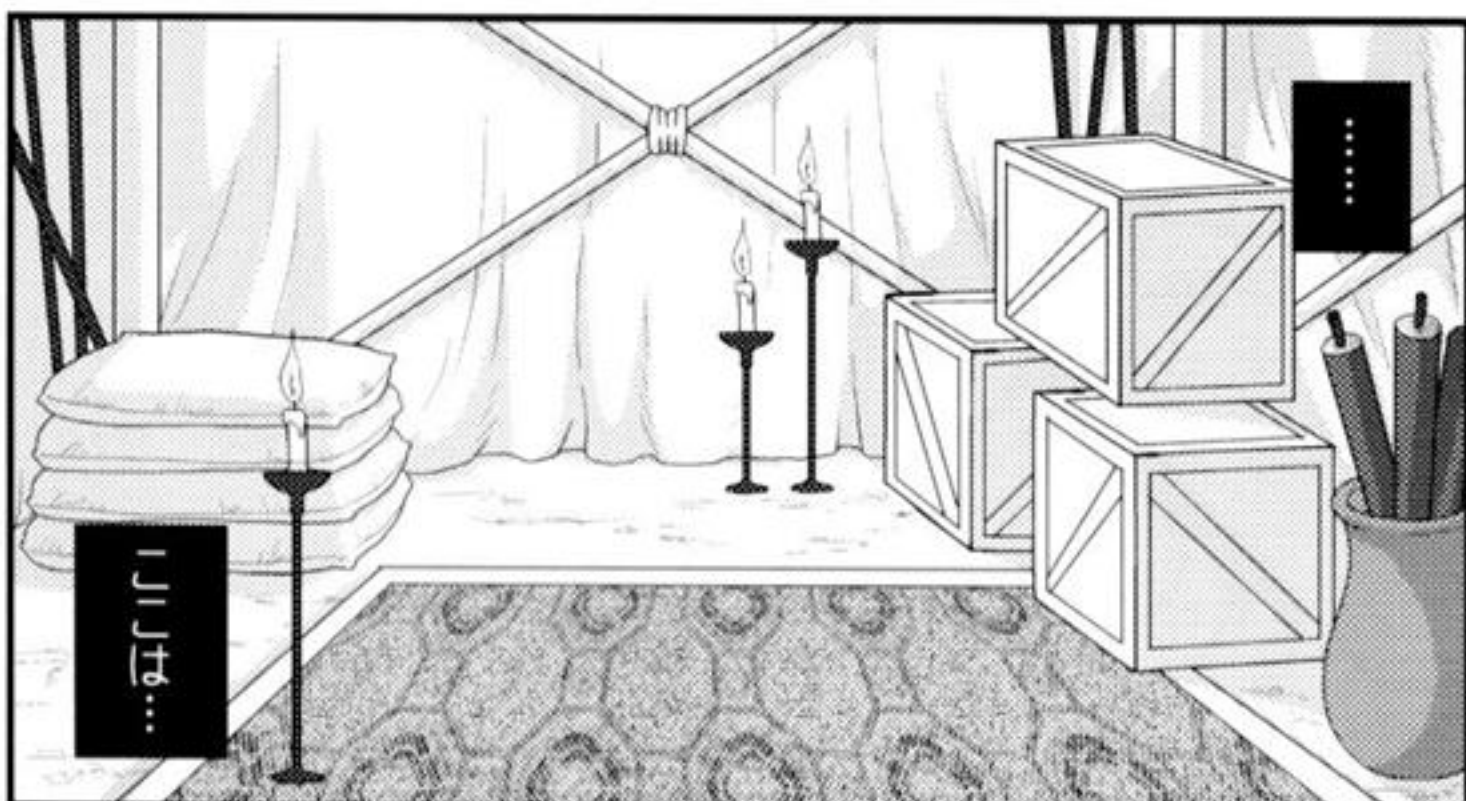


成年向



随
た
た
果
実

王
監
元
姫
禁



……

ん……



ようやく
目を覚ましましたか



……！

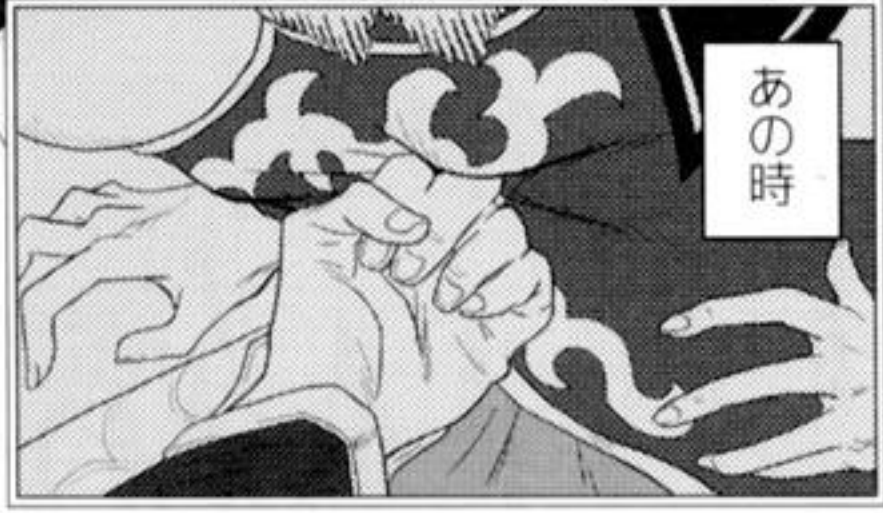




鍾会…殿…!



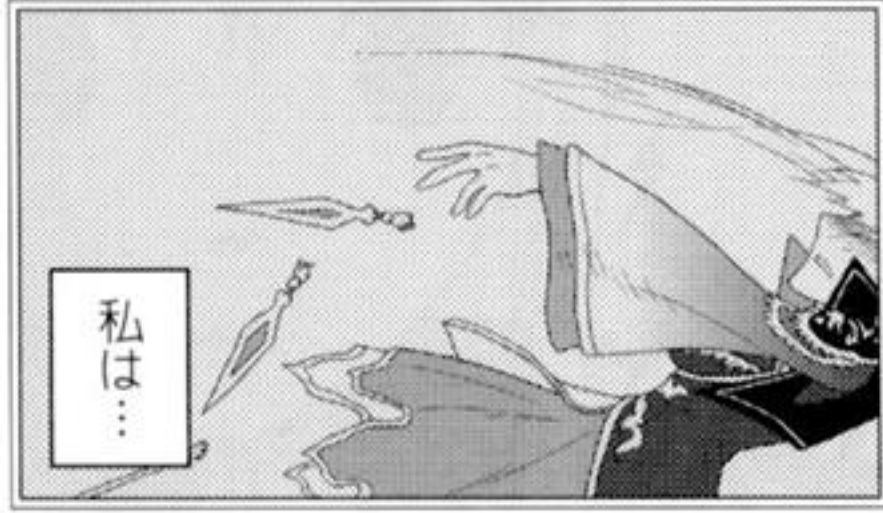
……!



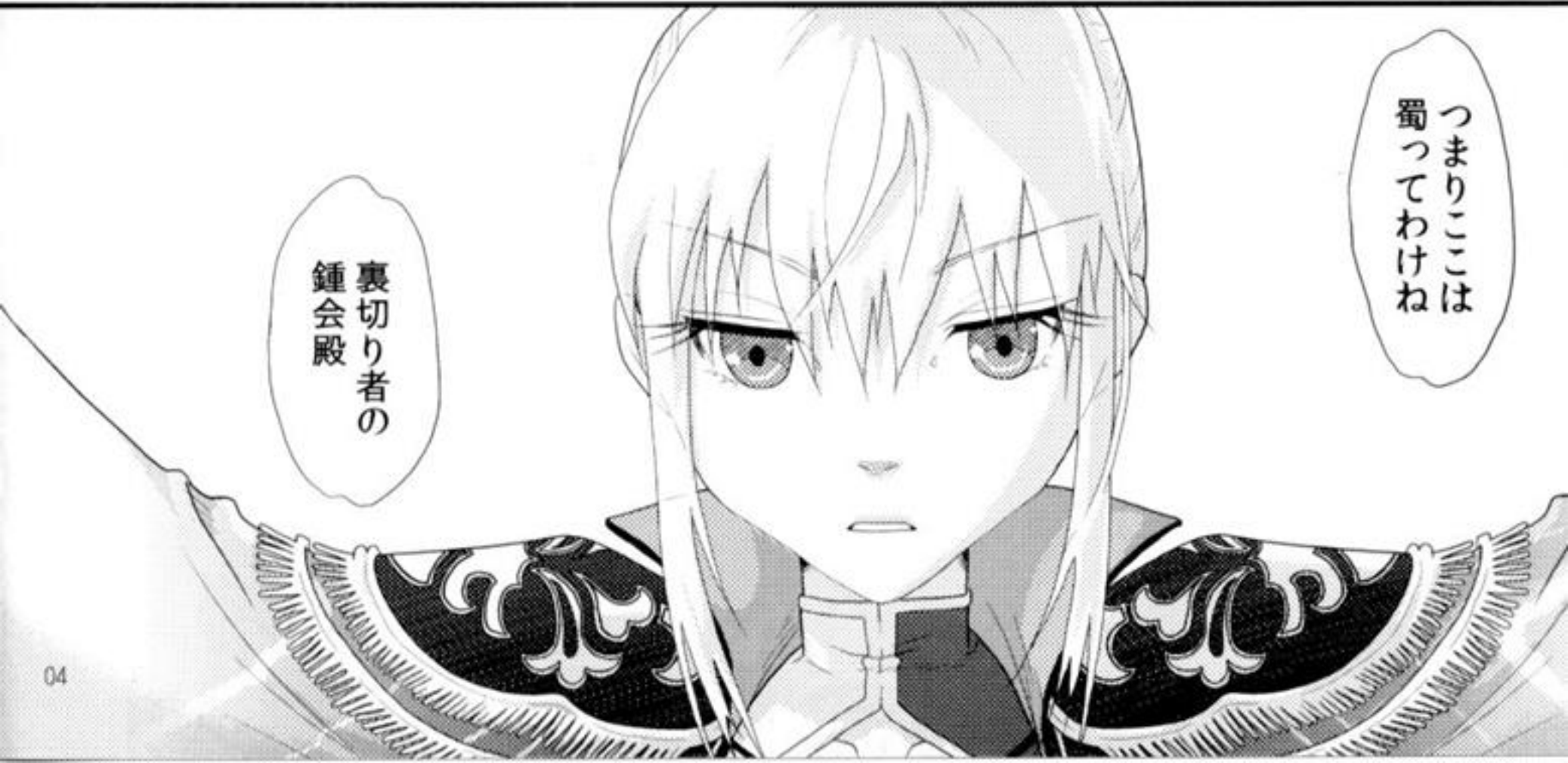
あの時



そなた



私は…



つまりここは
蜀ってわけね

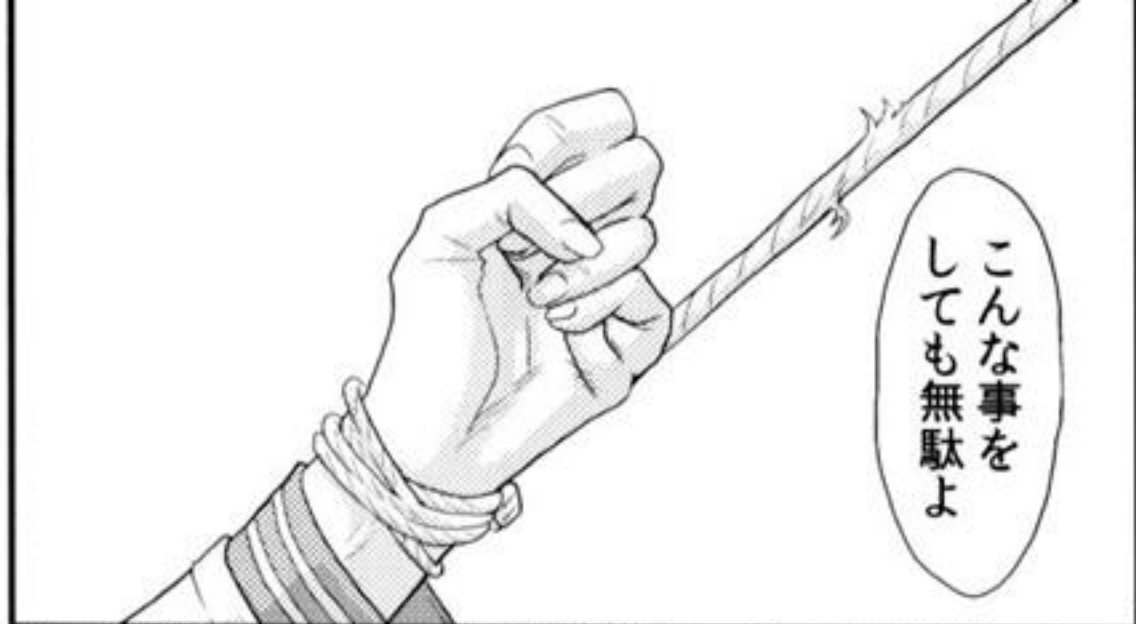
裏切り者の
鍾会殿

裏切りとは
人間きの悪い…

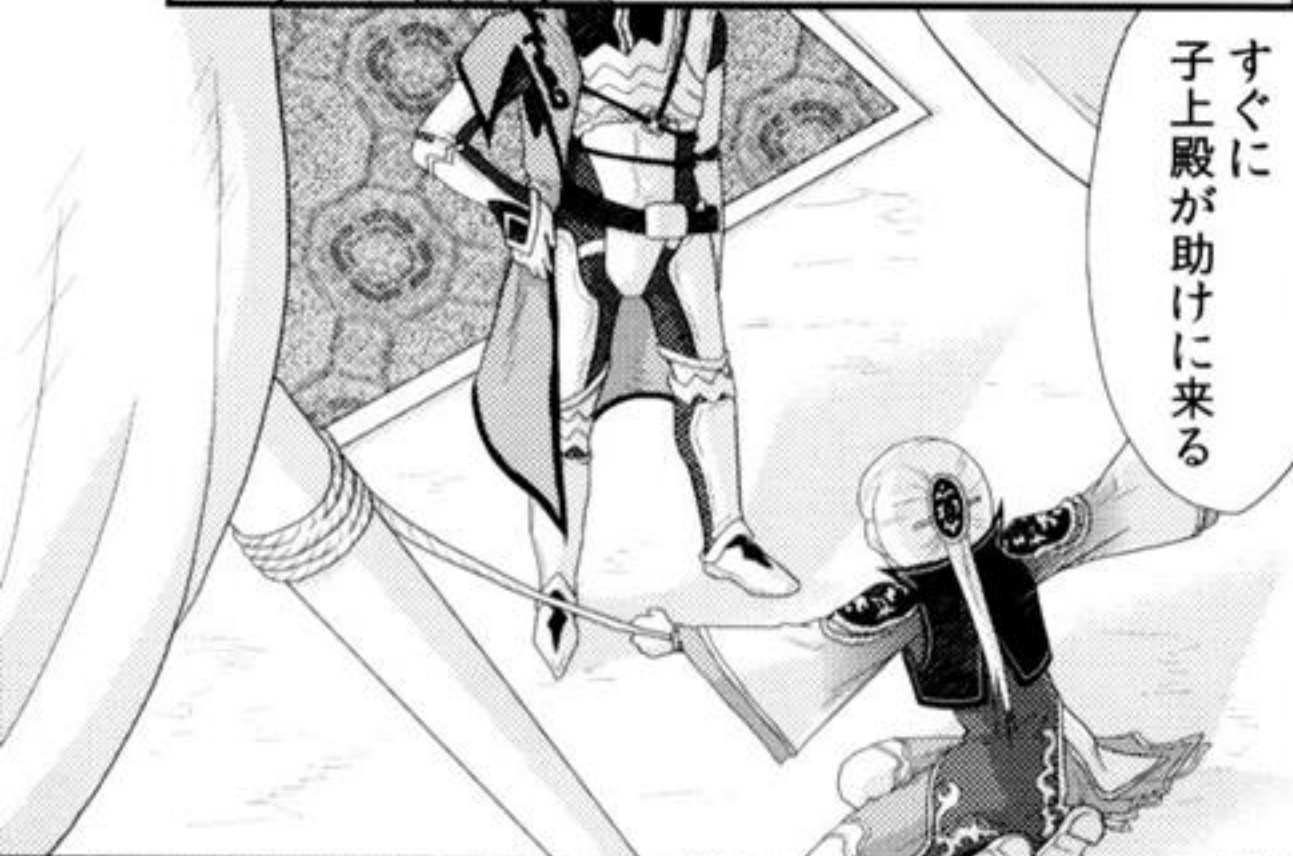


私は自分の才能を
活かせる所に
来ただけですよ

こんな事を
しても無駄よ



すぐに
子上殿が助けに来る



さあ
どうですかね？



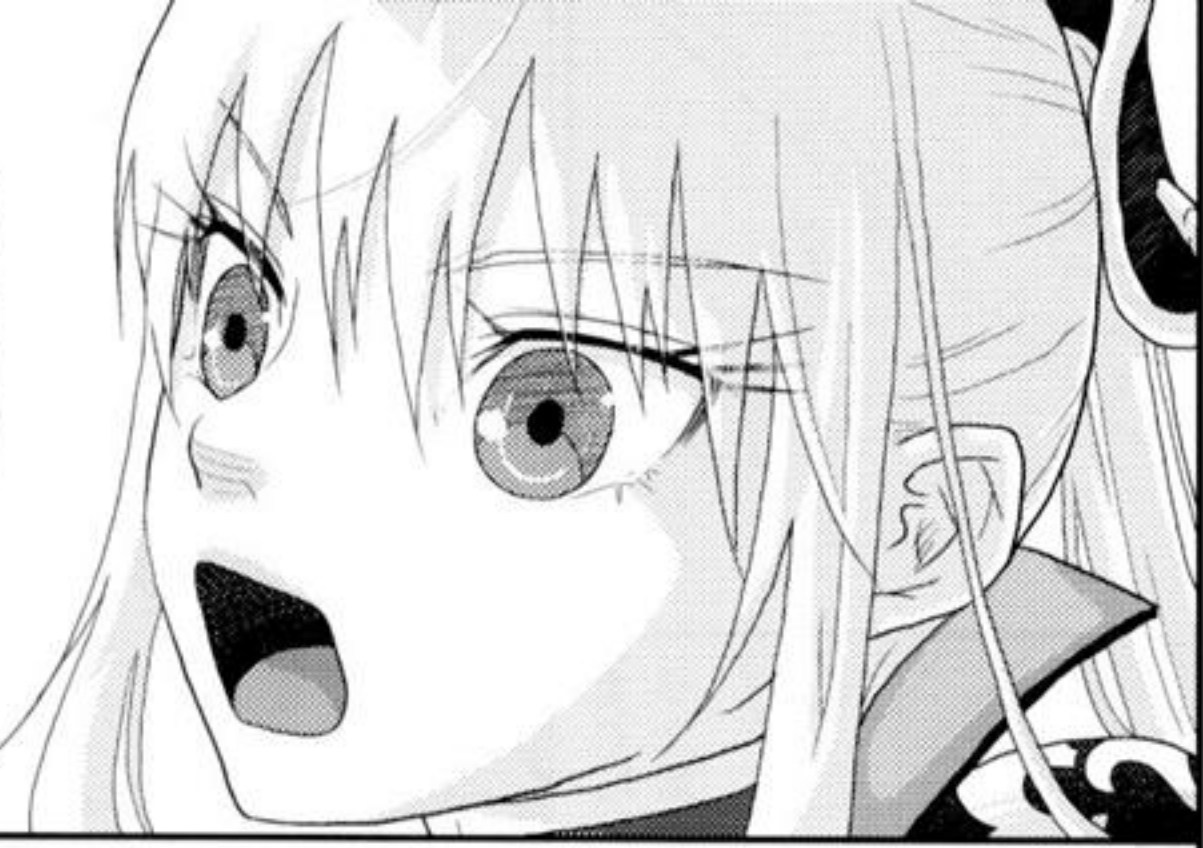
あちらには私の部下を
潜ませて噂を立てるよう
指示してありますから



「元姫殿は
沢に落ちて死んだ」と



すぐに来る



.....

子上殿は
カンがいい

そうしたらきつと
言うわね



「己の器も計れない
凡愚が」って



フン

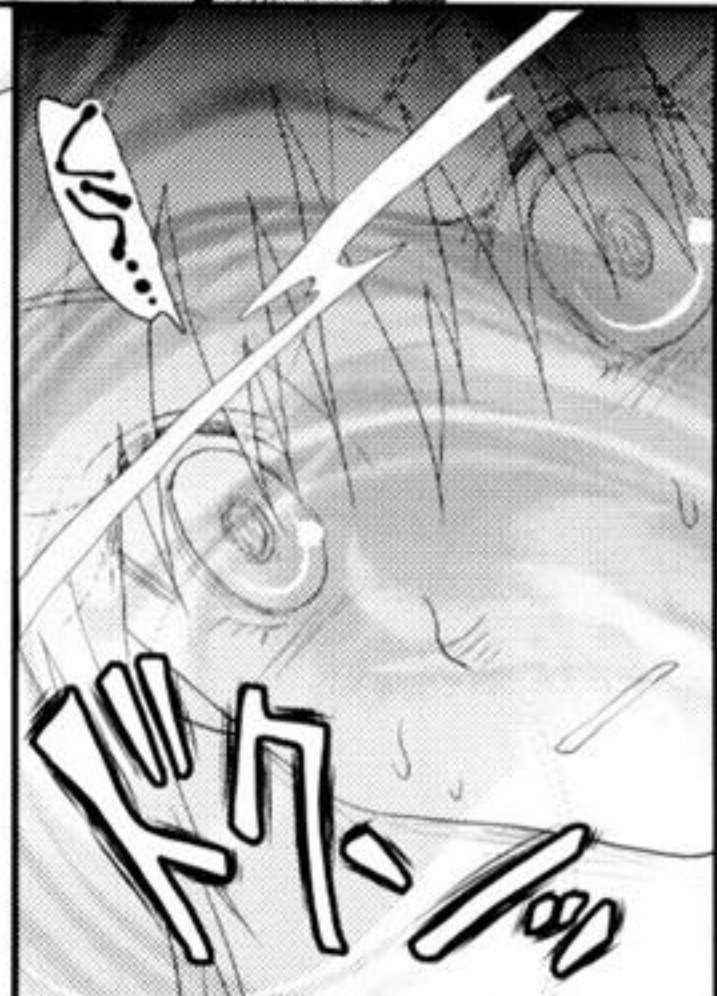


言って
いられますかねっ



いつまで
そんな強がりな...

!!
ちゅっ!!





服の上からでも
ハッキリ分かるくらい
乳首が勃起してますよ…



どうです？
効いてきたんじゃないですか？



あっ

差し上げますよ！



さぞ窮屈でしょう
すぐに脱がせて…



でかいとは思ってましたが
やはりコレで
押さえつけてたんですね

見られてる…

まさか
これほどの
大きさは…

あざむ



あっ！

あ

わん

わん

わん

もうこんなに固くして…

…っ！

何て淫乱な身体だ…

おいしいですよ
元姫殿の勃起乳首…

いやっ…
いやっ…
気持ち悪い…っ！

子上殿
子上殿…っ

だめっ
声…っ
上げたら…
こいつが
喜ぶだけ…っ

声…っ
我慢…っ！

助けて…！





あア……ッ

おやようやく
可愛げのある声
出てきましたね

い……いやア……ッ

ズズッ
ズズッ

……ですよ……
……鳴き……!

あ……熱い……っ

胸の間……
おちんちんが
コスれて……っ

ズズッ

ズズッ

ズズッ

ズズッ

ズズッ

ズズッ!!!

射精^でるっ!

ズズッ……

お……っ
お……っ……

う……あ……っ



まだ
ネを上げてもらっては
困りますよ

私もだいたいぶ
溜まっていますからね



ああ……ごち……

こんな……
顔中……
ドロドロに汚れて……し……



いや……！
やっ

子上殿以外の
なんて……っ！

や……



今度はその
可愛いおクチで



お願いしますよ



さあ
元姫殿



ほらっ
もつと唇と舌で
締め付けてっ

ガッ

いつも司馬昭に
してるように
すればいいんですよ

はっ
そろそろ
出しますよ…

こんな
裏切り者のを
無理矢理…

ガッ

悔し…
子上殿…っ



ガッ

今度は…
飲んで
もらいましょうか…

ガッ
ガッ

い…
いやあ…っ
ガッ

ガッ

ガッ

射精^でるぞっ！



ああっ…
のどの奥に…

熱くて…濃いのが…
すごい勢いで
流れ込んでくる…

全部飲むまで…

離しませぬよ…

まだ…出てる…
早く…

早く
終わってえ…

あ…

よく飲めましたね
濃くておいしかった
でしょう？

きま

さあそろそろ
これが欲しいんじゃないですか？



!!

あ…
あんな…
薬…っ

ポタ
ポタ
ポタ

なかに…
入れられたら…っ！



もう
あてがうだけで…

助けて
子上殿…っ

い…や…

簡単に…

飲み込んで…っ

犯される…

や…やめ…

裏切り者の
鍾会なんか…！



司馬昭のデカブーツを
毎晩くわえこんでるくせに
よく締まる…っ！

ああああ

ああああ

ああああ

いやあああッ

肉ヒダが絡みついできて
これは…極上モノだ…っ！

薬のせいなの…!?

やめ…っ
抜きなさい…!

熱い…っ

熱い…っ！

なか…
痙攣してる…っ

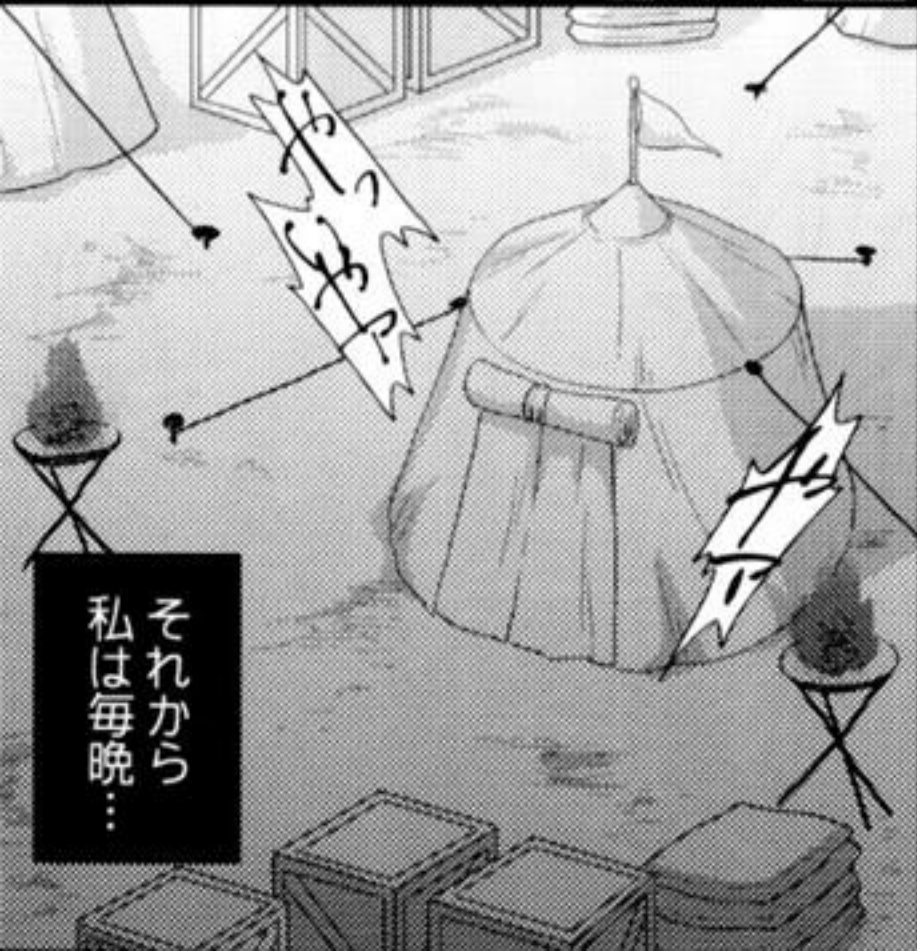


今のうちに
せいぜい強がって
おくんですね

どうせ
そのうち…

ヨダレを垂らして
イチモツをねだり出す
メス犬みたいに
なるんですから…!





毎日毎日
執拗に
薬を飲ませられ……

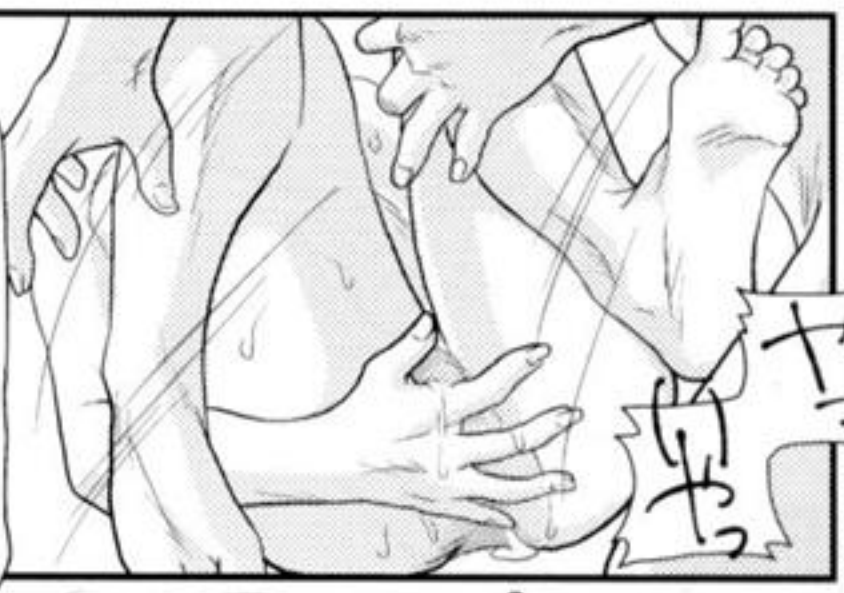


塗りたくられ
挿入されて……



ほら お薬ですよ……

……はっ……あ……



まだ抵抗する気ですか
こんなに
濡らしてるくせに……!!





お願い……っ

これ以上
犯されたら……
私……私……っ！

もう……っもう……
許してえ……っ！

ガク

ガク

ガク

ガク
ガク

ガク
ガク

ガク

ガク





さあ おクチで
きれいにして下さいよ...

いやらしい気持ち
溜まってる...



私のなか...



いつも
あそこが
ジーンズする...

鍾会殿の
おちんちんが
恋しくて...



オマ○コに...

もう指しゃいあ...

元姫のいやらしい
トロトロオマ○コに...
鍾会殿のチ○ポ
ぶちこんでえ...っ!

あちや...

上手におねだり
出来ましたね…

はは

はは

カ

カカ

そんなに欲しければ
自分から
またがって下さい…

カ

カ

カカ

にゅん

にゅん

んん

にゅん

にゅん

あはははははは
ははははははは
ははははははは
ははははははは

ハハハッ！
本当に
忘れてしまったんですか！

ハハハ……！！

さあ今日も
たっぷり膣出し
してあげますよっ

きもちいー…
きもちいいー…っ！





びしょ

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん!

びん

びん

びん

びん

びん

びん



ん♡

熱くて
気持ちいいでしょう…

ん♡

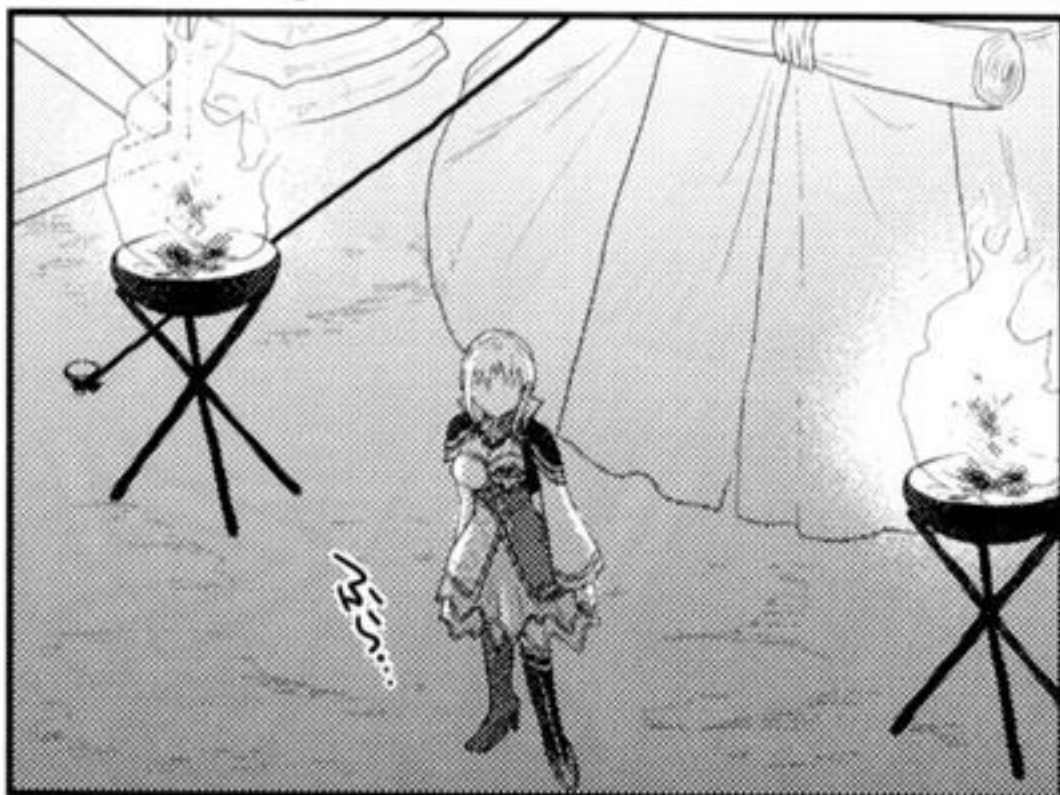


イキましたか？

ん…

鍾会殿…♡

ん…♡



ん…



ん…



今なら
逃げられる…！

……？

馬さえ
奪えれば…！

逃げる…？

……？

…姫…

元姫!

何か大切な事を
忘れてしまった気がするけど

もう何も思い出せない…

元姫殿

こんな所で
フラフラしていると
風邪をひきますよ

今夜は姜維殿も
呼んであります

二人でたっぷり
可愛がってあげますよ…
一晩中ね…

何も
思い出せなくていい

だって
私は…

私の身体は…

この本を手にとって下さってありがとうございます。させていただきます。栗布団の佐倉まふみと申します。

無双6プレイした時はふんぐくらいに思っていた鍾会×元姫でしたが猛将伝で確信を持ったので描いてしまいました…！前の本が慣れないラブラブもので、力加減が大変難しかったのですが、今回はフルパワーで描けて楽しかったです。凌辱…大好きです…。

元姫たんをどこまで墮とすか悩んだんですが、オチがまとまらなかつたのでこうになりました。ワタシ的には最後までいやいや言ってくれる方が萌えるんですが…。そういう本も描きます！いつか！

しかし鍾会殿の服ホントわけわからないです。お腹の鎧？みたいなもの、あれ金属なんだとしたら前屈出来ないじゃないですか…。まあ今回はかなり早着替えさせたので作画的には楽でした。司馬昭に比べたらホント楽でした（まだ根に持ってる）。

次は多分諸葛誕殿が（ダメな方向に）活躍する本になります。他に、元姫たんに生える本とか輪姦ものとか考えてます。気にかけて下さる方はチェックしてみてください。

重複になりますが、ここまで読んで下さってありがとうございます。ご縁があってまたお会い出来たら嬉しいです。



発行：栗布団
 著者：佐倉 まふみ
 印刷：丸正インキ
 発行日：2011年12月31日

kuributon@mail.goo.ne.jp
<http://www.k5.dion.ne.jp/~mutoyori/>
<http://www.pixiv.net/member.php?id=1122863>

BGM：伊藤かな恵ちゃんのアルバム。元姫たんが歌ってるみたいでキュンとします…！



熱くて...濃いのが
すこい勢いで
流れ込んでく...

だめっ
声...っ
上げたら...
こいつが
喜ぶだけ...っ

声...っ
我慢...っ

私のなか...

三国探しても
こんな事の出来る女は
いませんよ元姫殿...っ

云じ
され続けた

元姫のいやらし
トトロオマのホ
鍾会殿のちのホ
ぶちこんで